

コウノトリ



毎週月曜日更新

# カタカタ通信

第144号

## 「エサやり体験の様子」

2024年9月30日

エサやり体験の時の2羽の動きを紹介します。

朝一番は、エサやり体験用に水の入ったバケツを用意します。バケツを持って行くと、最初の頃はエサを持ってきたと反応して近づいてきましたが、最近は理解したのか寄ってこなくなりました。同じように、手ぶらでガラスの前に行っても、慣れてきたのか寄ってこないです。コウノトリたちもこちらを観察し、学習しているようです。

エサやり体験の時、2羽はパイプの近くに寄ってきます。天空の里で飼育を開始した最初の夏は、エサを流してもパイプまで寄ってこない時もありました。今では、ペットと勘違いするぐらい、エサの時は走ってきます。

ワカサギをたくさん食べられるいい場所は、パイプの出口よりも少し奥の方のようです。勢いよくエサを流すとワカサギは奥に流れるので、実は手前よりも奥側で待っている方がたくさん食べられます。



エサを持って行くと飛んできます



パイプからちょっと離れている方が  
たくさん食べられます

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじい